

心理検査結果報告書

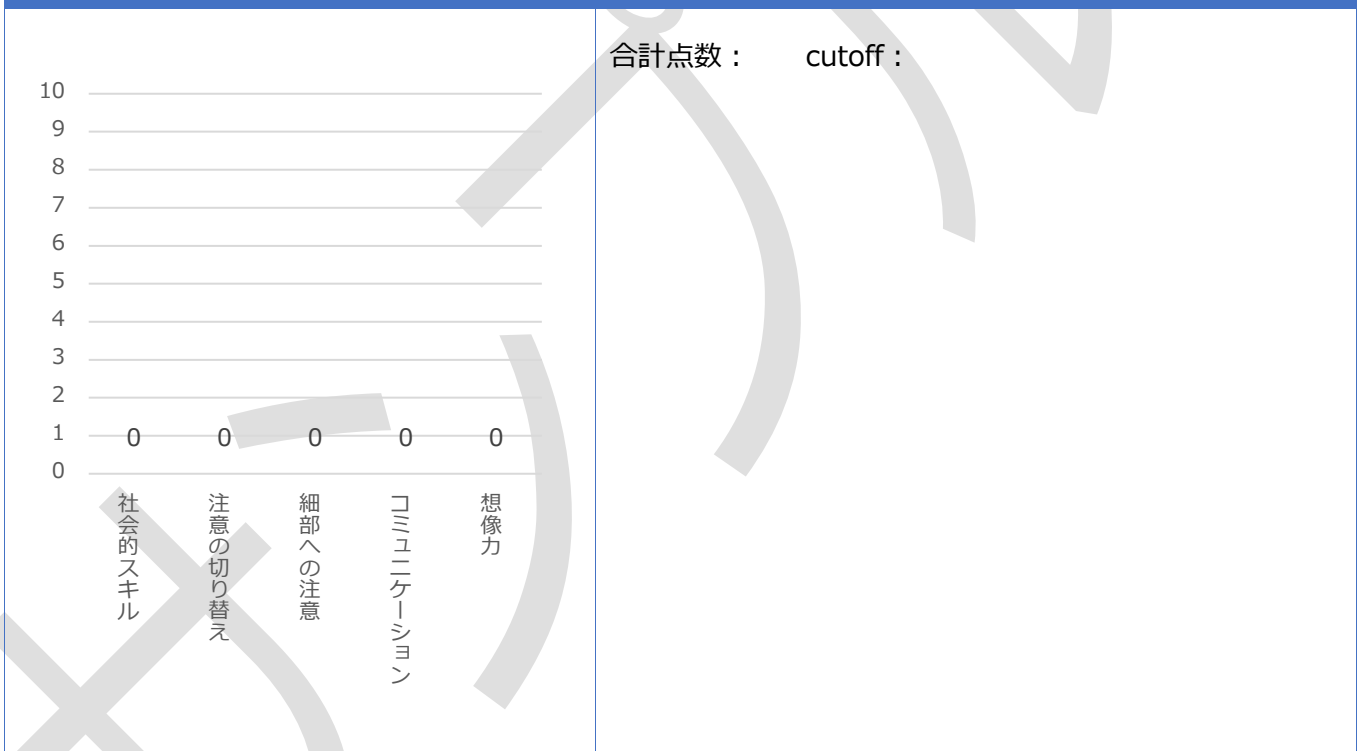
相談者	氏名	様
	生年月日	
相談内容		
検査場所		
実施検査	SCT (文章完成法テスト)	
	AQ 検査 (自閉症スペクトラム指数)	
	ASRS (成人期 ADHD チェックリスト)	
	感覚プロファイル (本人・保護者)	
	WAIS-IV (ウェイスフォー知能検査)	
	バウムテスト (木を描く検査)	
	描画テスト (風景を描く検査)	
	MSPA (発達障害の要支援度評価尺度)	
実施者		

心理検査時の様子

SCT（文章完成法テスト）結果

Blank area for SCT (Sentence Completion Test) results.

AQ 検査（自閉症スペクトラム指数）結果



ASRS（成人期 ADHD チェックリスト）

Blank area for ASRS (Adult ADHD Self-Report Scale) results.

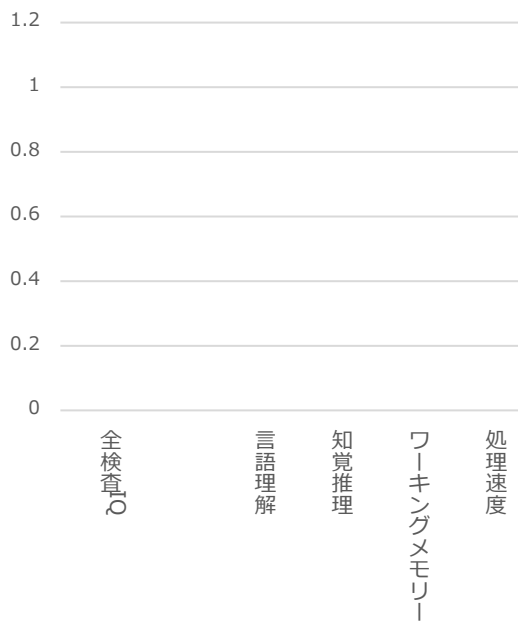
感覚プロフィール (本人・保護者)

	本人結果		家族結果	
	象限	象限スコア	象限	象限スコア
本人結果	1.低登録	/75	1.低登録	/75
	2.感覚探求	/75	2.感覚探求	/130
	3.感覚過敏	/75	3.感覚過敏	/100
	4.感覚回避	/75	4.感覚回避	/145

WAIS-IV (ウェイスフォー) 知能検査

	IQ/群指数	信頼区間 (90%)
全検査 IQ (FIQ)		
言語理解 (VCI)		
知覚推理 (PRI)		
ワーキングメモリー (WMI)		
処理速度 (PSI)		

※信頼区間 (90%) は、調子の良し悪しによる誤差範囲を示しています。



全体的知的発達水準

言語による理解、思考、表現

視覚及び直観による理解、思考、表現

聴覚的ワーキングメモリー

単調な筆記作業を根気よく手際よく続ける力

baum test (drawing check)

絵

絵

絵

描画テスト（風景を描く検査）

絵

MSPA（発達障害の要支援度評価尺度）

<p>The radar chart displays scores for 12 categories. The categories are arranged clockwise from the top: コミュニケーション, 集団適応力, 共感性, こだわり, 感覚, 反復運動, 粗大運動, 微細協調運動, 不注意, 多動性, 衝動性, 睡眠リズム. The chart has concentric rings from 0 to 5. A dashed orange line indicates scores of approximately 2 for most categories, with some variation between 1.5 and 2.5.</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1145 219 1209 398">1</td> <td data-bbox="1209 219 1560 398">気になる点はない</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1145 398 1209 577">2</td> <td data-bbox="1209 398 1560 577">多少二になる点はあるが、通常の生活環境において困らない</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1145 577 1209 757">3</td> <td data-bbox="1209 577 1560 757">本人の工夫や、周囲の一定の配慮（上司、担任など責任ある立場の人が把握し配慮する程度）で集団生活に適応</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1145 757 1209 936">4</td> <td data-bbox="1209 757 1560 936">大幅な個別の配慮で集団生活に適応（上司、担任、同僚などの十分な理解や的確な配慮による支援がなければ困難）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1145 936 1209 1122">5</td> <td data-bbox="1209 936 1560 1122">集団の流れに入るより個人単位の支援が優先され、日常生活自体に特別な支援が必要となる</td> </tr> </table>	1	気になる点はない	2	多少二になる点はあるが、通常の生活環境において困らない	3	本人の工夫や、周囲の一定の配慮（上司、担任など責任ある立場の人が把握し配慮する程度）で集団生活に適応	4	大幅な個別の配慮で集団生活に適応（上司、担任、同僚などの十分な理解や的確な配慮による支援がなければ困難）	5	集団の流れに入るより個人単位の支援が優先され、日常生活自体に特別な支援が必要となる
1	気になる点はない										
2	多少二になる点はあるが、通常の生活環境において困らない										
3	本人の工夫や、周囲の一定の配慮（上司、担任など責任ある立場の人が把握し配慮する程度）で集団生活に適応										
4	大幅な個別の配慮で集団生活に適応（上司、担任、同僚などの十分な理解や的確な配慮による支援がなければ困難）										
5	集団の流れに入るより個人単位の支援が優先され、日常生活自体に特別な支援が必要となる										

総合所見

Blank area for overall observations.

